

広報

しおばら

10

2013/October
No.103

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

花の広場に さとやまの 風景

国営備北丘陵公園の花の広場に世界的庭園デザイナーの石原和幸さんプロデュースの庭が完成。「備北緑風庭」と名づけられた庭を楽しむ多くの観光客にぎわっています。(関連記事14ページ)

2 特集 市政懇談会

8 プラモニ募集中／行革策定にかかるパブコメ募集

9 今年の冬はベレットストーブで温まろう
竹チップー貸し出します

10 行政相談委員会にご相談ください

11 11月10日は広島知事選挙

70-100歳まで楽しめる野菜づくり

12 地域の安全安心を守る消防団
安心・安全な毎日のために

13 市政トピックス

14 カタラレポート

18 健康広場

19 お知らせ

Special feature
特集

市政懇談会

市が行う政策や事業に対し、市民の皆さんから意見をお聴きする市政懇談会を8月26日から9月13日の間、市内7会場で開催しました。
各自治振興区や自治会の代表者のほか、一般参加者を含め延べ321人（比和29・高野23・総領31・西城42・庄原62・口和39・東城95）が参加しました。
今回は共通テーマとして「定住推進」を設定し、木山耕三市長が公約に掲げる「庄原いちばんづくり」の考え方、長期総合計画との関係、これまでの定住に関する取り組みの成果・評価と今後の課題、今後の定住促進施策について。パワポイントを用いて説明しました。また、地域ごとにテーマを設定し、それぞれ地域で活発な懇談・意見交換が行われました。その一部を抜粋してお知らせします。

共通テーマ 定住促進について

比和会場（8月26日・比和自治振興センター）

※地域テーマは設定していません

就業場所の確保を

Q 定住促進を図るためには就業場所の確保が必要だが、産業振興について市としての考えは。

A 農業振興、林業振興、観光振興、企業誘致が主な産業振興である。収入を得るうえからも定住促進に欠かせない要素であると考えている。それ

組みづくりが必要。また、上下水道、インターネット環境が整った住宅が出来れば、魅力ある提案になる。

A 松江自動車道の開通、無料区間があることなどで交流人口は増加している。平日は都会で、土日はゆっくり高野で過ごす2地域居住を、そして退職後は高野へ定住してもらおう。それに向けしっかりとしたPRが必要。やみくもにやるのではなく、分析をしっかりとした上で行っていきたい。

Q 高野を観光で訪れた人のために、登山道やりんご園周辺に公衆トイレや避難小屋などの整備が必要だと思ふ。

A 公衆トイレは現在ある施設を有効活用していただきたい。大万木山など離れた場所は、登山ルートやニーズに応じて検討が必要だが、直ちに整備するのは難しい。必要に応じて仮設トイレでの対応も検討する。

総領会場（9月4日・総領自治振興センター）

思い切った政策を

Q 若者にとって庄原はますます魅力がなくなっている。飲食などの購買力は三次市、家賃も三次市内のほうが月額で約1万円安い。思い切った政策で勝負してほしい。そこで①企業誘致によって働く場所の確保。そのために県内外の企業へトップセールスを②子どもたちに安心・安全

それぞれの振興策は既存事業の確実な実施を前提としつつ、特化すべき取り組みは「庄原いちばん基本計画」の中に盛り込む予定である。

男女の出会いサポート事業の成果は

Q 男女の出会いサポート事業について、これまでの取り組みの内容、成果および今後の取り組みの概要は。



な町並みを残すため、中心市街地の整備を③庄原に住もうと思える庄原の将来像を子どもたちが描けるよう、子どもたちの討論の機会をつくる一を提案したい。

A 現在、庄原駅前の土地区画整理を行っている。庄原は戦火を受けていないため古い町並みがそのまま残され、道が狭く小路が多い。それを整理すべきか、残していくべきか、皆さんと一緒に考えていきたい。

企業誘致についても一朝一夕にはいかないのが現状。国際競争力を考えて海外へ進出していく企業も増えている。ただ、本市の豊かな自然が結びつく産業はあると思うので、この強みをアピールしていきたい。

民間の住宅事業者に行政から家賃を安くするように言うのは越権行為になるのでできない。現在、新婚世帯を対象とした家賃補助を行っているので、それをきっかけに定住につなげていきたいと思う。



A 平成19年から実施している婚活事業だが、結婚したいと思う男女を募集して出会いの場を提供するもので、さまざまなイベントを行っている。参加者は年によってまちまちである。その中から何組か結婚しているが、今年もボランティア活動などを一緒にできるよう検討している。ただ、この事業は非常にデリケートな要素が多い。昔は、地域に世話をしてくれる人がおりサポートできていたが、今は世話人がいなくなり、なかなかサポートできていない。

高野会場（8月27日・上高自治振興センター）

※地域テーマも同様に「定住促進について」

住宅などのインフラ整備を

Q 定住促進には若者などが住める住宅などのインフラ整備が必要

先日、行った高校生議会で本市の将来のまちづくりについて市内4高校の生徒と意見交換し大変勉強になったので、今後、子どもと直接討論する場を検討していきたい。

働き場がなければ人は帰ってこない

Q 現在、本市に本籍を有する人が7万8千人強いると説明されたが、働き場がない限り、その人たちのUターンはあまり望めないのではないか。

A 現在、Uターン者を中心とした施策を考えており、それには働く場所の確保が一番だと認識している。ただ最も大切なのは、「庄原に帰ろう」という気になってもらうこと。「帰ってきたい人」を見つけること。市外へ出られている方を含めて「帰って来いや」と呼びかけたり、背中を押したり、手を引いたりする施策が必要。

例えば市役所などが職員を募集するといった情報を速やかに提供するなど、小さな取り組みを確実に行っていききたい。

西城会場（9月6日・ウイル西城）

過疎の問題点と克服すべき課題は

Q 過疎というのはどこを基準に過疎と判断し、過疎の何が問題で、克服すべき課題は何なのか。
A 過疎の基準については市独自のものはないが、一般的には人口が

だ。高野の若者を他の地域に出さないためにも、高野インターチェンジ付近に住宅の整備をしてほしい。
A 市内には市営住宅が約900戸あるが、その中には耐用年数を超えた建物も多く、限られた予算の中で管理を行っているため新設は難しい。現在、定住を目的とした市営住宅の入居率は70%ほど。当面は、市の施策として家賃補助や住宅整備の補助金など、現在の施策を推進して定住につなげていきたい。

Q 市が全額を出さずとも、民間業者へ助成する方法もあるのではないか。

A これから人口流入などのデータを集め、時間をかけて検討していく必要がある。交流人口を増やす生活基盤づくり↓定住につながる環境整備、という流れになるが、まずは未来創造事業などで交流人口を増やしていくことが重要だと考えている。

Q 松江自動車道の開通で尾道・松江・出雲へつながり、他の行政区に無料で行ける環境ができるなど、高野に住むメリットは大きくなった。高野に住んでもいい、他の市町で働いてもいい庄原に税金を払ってもらう仕



減少することを過疎と呼んでいる。過疎の問題点は、特に若い世代が減少すると地域行事や地域運営に支障が出てくる。地域の経済活動も減退させる。これにより市の税収も減少し、悪循環になる要素の一つである。

所得が得られる政策が必要だ

Q 都会と農村の所得の差には大きな隔たりがある。この地域に住むためには都会に匹敵するような所得が得られるかどうかだ。

A 市民一人当たりの所得も活性化の重要な要素である。長期総合計画の中では、一人当たりの所得金額目標を平成27年度で300万円としているが、残念ながら逆に減収傾向にある。市が各個人や世帯の収入を直接的に上げるのは難しいが、農業面での経済的な支援や新婚世帯の住宅家賃の助成などを含め考えていきたい。





ターゲットを絞らず幅広い取り組みを

Q 田んぼや山を守るには、過疎化が進むと非常に厳しい状況が出てくる。若者だけに対象を絞らず、もう少し幅広く捉えた政策や支援制度に今後取り組むべき。

A 現在検討中のUターン施策は、若者に限定しているわけではないが、特に若者を強化していきたいと考えている。働く場が定住するためには必要であることは間違いない。しかし、働く場があればすぐに人口が増えるかというと、そうではない。一番大切なのは、庄原で暮らそう、庄原へ帰ろうという意識になってもらうことであると思う。そのために何ができるのかを中心に検討し、事業化を考えたい。

地元を愛する子どもを育てる教育を

Q 定住促進のなかでは、教育・保育・子育てという観点を持って、地元をいいたところと思える子どもを育てていくことも必要。制度だけで定住促進が進むとも、企業誘致だけで定住が進むとも思わない。子育て支援・保育・教育の中で子どもたちが一人でも多く庄原に残る定住促進を行ってほしい。

A ご意見のとおり。生きること、働くこと、生活の全てが定住であると認識している。

根本的にまちを変えてはどうか

Q 人が集まらないと、にぎわいは生まれにくい。ばらばらに住むのではなく、中心地に集まって住めるように、根本的にまちのつくり方を変えていく必要があるのでは。

A これまでは、商業地、工業地、住宅地と用途を指定して、働く場・住む場・人が集う場と区分してきた。しかし、地方都市では計画的に人が増えていかない。そうした中、中心部から約1キロ圏内であるような用事が済ませられる「コンパクトシティ」という考え方があつた。庄原の中心は市役所周辺やジョイフル周りが考えられるが、これを有機的に結び付ける必要がある。にぎわいづくりのワークショップを秋から立ち上げ、このまちをどう

地元高校へ進学するよう取り組むべき

Q 本市には4校の高等学校があるが、そのうち庄原格致・西城紫水・東城は連携校に指定されている。連携校とは廃校前の施策で、近いうち3校のいずれかが廃校となるのではないかと心配している。これを阻止するには、地元の高校に地元の生徒が行くことだ。それには魅力ある学校づくりが必要だ。現在、市内の中学校の生徒が地域外へだけ進学しているのか。高校へ魅力ある学校づくりを要望する必要があるのではないか。

A 県立高校の再編計画は県で策定されていて、私たちも存続について強く要望している。再編対象となっている3校は、特色ある学校づくりを行っている。市外への進学者数などの数値は、相当数の生徒が地元の高校へ進学していると認識しているが、現在は全県一区の校区となっており、

きちんとした定住理由の把握を

Q 庄原に帰郷、転入した理由をしつかり把握しておく必要がある。把握せずに施策を行っても効果はなく、そこに経費をかけても無駄である。

A 帰郷・転入の理由は人口減少の原因分析を進めていくうえで非常に重要である。今後、相談を受ける際には、その動機や理由を聞き取りたい。

A 相談への対応として、言われるようなことがあるのは事実だと思ふ。アドバイザーの仕方に問題があると考えられるため、職員の人材育成に取り組みたい。市長に全て報告することは物理的に難しいが、支所も総合支所という形で支所長以下職員を配置しており、できるだけ市長まで声が届くような体制の維持に努めたい。

Q 定住を進めていくには出産できる環境を整っていることも重要だ。産科医の問題の進展は。

A 今回、広島県周産期医療協議会の中で、産科医の県内配置について検討され、備北地域に優先して配置しようという結論になった。時期は明言できないが、一日も早い産科再開

に向けて、庄原赤十字病院と連携しながら鋭意努力していきたい。

定住には超高速情報通信網整備が不可欠

Q 超高速情報通信網がないのは県内で庄原市だけだ。ネット起業したい人にとって庄原は選択肢に入らないのでは。

A 昨年度、庄原市超高速情報通信網整備計画を策定した。口和地域は支所の周辺を整備し、それ以外は携帯通信技術の動向を見て拡大する計画である。告知放送も含めて今後早期に整備できるよう努力していきたい。

子どもの医療費の無料化を

Q 本市には出産祝い金があるが、医療費の無料化を検討してほしい。三次市は中学校3年生まで医療費が無料だ。

A 医療費助成については色々ご意見をいただいている。現在検討中である。

東城会場（9月13日・東城支所）

定住促進にはまず支所の充実を

Q 定住促進を一体的に取り組むにはやはり行政が中心的役割を担う必要がある。市民と一番近い支所を充実させ事業を展開すれば、さまざまなプロジェクトも進むのでは。



市外への進学があるのも事実。進路指導では、確固たる目的意識を持って志望校を決めている場合はともかく、まず地元校を勧めるといのが基本である。今後も存続に向けた取り組みを行っていく。

口和会場（9月12日・口和自治振興センター）

相談は真剣に対応してほしい

Q 窓口へ課題について相談すると、単純に出来る、出来ないという返答が多く、真剣に考えてもらえない印象を持つ。市民が相談した課題が市長に届くことが少ない。住民の声を一つ一つ拾い上げ、もっと一緒に考えてもらいたい。

ので何かできると思うが、空き農機具については今後検討が必要である。

兼業への支援を

Q 就農してもすぐに儲からない。農業と兼業でできる職業を見つけてくれる対策を。

A 庄原市の新規就農者は現在21人、ほとんどが専業農家で頑張っている。職業を見つめる支援策については、今後検討したい。

新しい就農支援制度を

Q 空き家バンク以外に、「空きハウスバンク」「空き農業機械バンク」の仕組みづくりを提案する。初期投資の軽減を考えると、4つのバンクが一体となった就農支援制度を設けてはどうか。

A 空きハウスについては、資金を借りてハウスを建て、加えて、使われていない古いハウスの部材を活用して、ほうれん草栽培をしている事例がある。空き農地は、遊休地がある



地域テーマ

■ 総領会場
「情報通信を使った安心・安全のまちづくり」

タブレット端末を使ったモデル地域に

Q 光回線の整備よりも携帯電話の電波を利用したタブレット端末を使うほうが安価で便利。総領町はほぼ全域で使用できるので、ぜひモデル地域として取り組んでほしい。その結果が全地域に広がっていく努力をしてほしい。

A 機器を使った情報伝達は、子どもからお年寄りまで誰でも簡単に使えて理解できる物でないといけない。ご提案いただいた内容はその点を考慮すると大変悩ましい部分もある。

■ 西城会場
「互いの不足を補い合い、共に協力して課題解決に向かうための「協働」のあり方」

新たな雇用機会の創出を

Q 本市には豊かな「森」と、「水」を生かした木質バイオマス発電はどうか。また、この地域は歴史的に見ても非常に土地が安定していて地震が少ない。これは大きな強みだ。企業誘致成功の非常に大きな要因になる可能性がある。



ある。これらを生かして新たな雇用機会を創出していくことが必要ではないか。

A 一般的な企業は企業収益を求め、都市に遠い本市は非常に不利。その中で、庄原市の一番の強みである農林業を中心に、働く場を作っていくことが一番重要だと思っている。

木質バイオマス発電はコストがかかることもあるが、木材収集に当たり、全伐で行うことも考えられ、はげ山が増えるという問題もある。木質ペレットに関しては市の重要な施策として公共施設を中心に有効活用をしていきたい。

非常時の食料や物資などの備蓄施設を、地震の少ない庄原市へ誘致するという道も探って行きたいと思う。

情報共有手段の構築を

Q 光ケーブルを利用した通信網の整備も重要だが、オフトークに代わる情報共有化手段の構築も必要



状として役に立たない名簿であると認識している。

A 本人の同意に基づくものであるため、登載者は多くない。

Q 市は高齢者・障害者など弱者を助ける思いはあるのか。全住民でなく弱者の方の名簿を提供してほしい。

A どうすれば要望に応えられるか市内部で検討したい。庄原地域自治振興区連絡協議会と協議しながら進めていきたい。

情報伝達システムの早期整備を

Q 災害発生時、被害を最小限に抑え、二次被害の発生を防ぐには、正確な災害情報の収集と住民への迅速な情報伝達が重要となる。老人世帯が増加しており、地域コミュニティを深めるうえでも情報伝達システムは不可欠である。早期整備を要望する。

A 防災行政無線は全世帯へ確実に情報伝達でき、断線・停電の影響

だ。
A 昨年11月に策定した庄原市超高速通信網整備計画に基づき、来年度からは本格的に取り組めるように内容の検討をしている。早期に決定し取り組んでいきたい。オフトーク通信については、それに代わる住民告知のシステムを早急に構築する必要があると考えている。

包括的な地域の医療や福祉の充実を

Q 西城市民病院にはしあわせ館が隣接し、医療・福祉・介護が充実している。さらに保健部分を充実させればどうか。また、地域の高齢者が安心して生活できるように、緊急時に即対応できる夜間・随時対応型の訪問看護というような仕組みがあるのでは。

A 西城市民病院は以前から地域包括ケアに取り組んでいる。介護保険が始まったときにはしあわせ館と一体となり、関係者と協議を進める中で、医療は病院で、介護・福祉・保健はしあわせ館で役割を担っている。

西城市民病院4階フロアの活用法は

Q 現在空いている西城市民病院の4階部分をどう活用していくのか。

A 4階フロアを高齢者住宅として活用できないか、生活支援施設のニーズ調査を行った。今後、施設を改修するにあたり、総事業費や財源の確保、施設の管理運営など、総合的に

響を受けにくい情報伝達システムであり、光ケーブルの告知システムより導入維持経費が安価であることなど、他の手法より優位である。平成26年度からの整備に向けた検討を進めている。

■ 口和会場
「暮らしの安心」(高齢者福祉)

配食サービスの充実に協力を

Q 配食サービスを月1回実施しているが、利用者からはもっと増やしてほしいという要望がある。要望に応えるための支援をお願いしたい。

A 実施されている配食サービスは、とても好評だとお聞きしている。来年に向けて対応を検討したい。

介護施設と利用者の現状は

Q 市内の介護施設の数、利用者の数、施設を利用したい人が何人いるのか。もし現状で施設が足りていなければ整備が必要。施設ができると思雇用も生まれ、定住にもつながると思う。

A 入所施設は23ある。3月末で介護認定しているのが3835人。利用者は約83%である。待機者は、申し込みを同じ方が複数されている人を含め180人ほど。施設整備は雇用や定住に結びつく要因になるが、庄原市介護保険事業計画の中で、慎重に検討したい。



検討しながら方向性を出していきたいと考えている。

市の業務には振興区へ委託できる業務があるのでは

Q 行政が直接実施する必要の無い事業、住民自治組織に任せたいほうが効果的な事業が無いかどうか改めて検討してほしい。

A 現在、第2期庄原市行政経営改革大綱策定の取り組みを進めている。行政改革の中でも精査したい。提案の趣旨が、各自治振興区へ委託できる業務があればとのことであったが、そうなるのと全ての自治振興区へ同じように依頼をすることが基本になる。現在の事務・業務も改めて検証しながら考えていきたい。

■ 庄原会場
「自主防災推進上の地域課題解決」

地区住民の名簿の提示を

Q 自主防災組織の確立と、防災・減災に向けた活動を進めていくうえで、地区住民の名簿作成・情報伝達システムの整備が不可欠だ。住民実

■ 東城会場
「森林を活かしたまちづくり」

木の駅プロジェクトの推進を

Q 森林の再生、地域の活性化の具体的な取り組みとして「木の駅プロジェクト」を進めていただきたい。市の林業振興計画に盛り込み、今後、検討されるようになっていくが、もっと早く仕組みづくりをしてほしい。

A 「木の駅プロジェクト」は、本市にとっても有効な取り組みと考えているが、実施にあたっては課題もある。関係者と具体化に向けて協議を進める予定である。



県内初!

庄原市「まちづくり」プランナー・モニター募集中

市は市民の皆さんから、インターネットを通じてまちづくりの事業提案や市の事業に対する評価などをいただく、「まちづくりプランナー・モニター事業」に取り組んでいます。この事業に参加できる方は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレット端末でインターネットが利用できる15歳以上の市民と市内の法人・団

体で、あらかじめ登録が必要です。市民が主役の「まちづくり」を進めるため、ぜひ登録をお願いします。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

問い合わせ

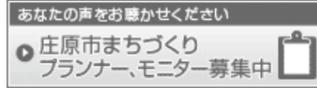
企画課政策推進係
☎0824・73・1112



●登録はインターネットで●

次の方法で登録ページへアクセスできます。

①庄原市のホームページのトップページ右下のパナーから



② <http://www.city.shobara.hiroshima.jp/government/seisaku/post-272.html> を直接入力

③QRコードから



企画課、各支所企画調整室に備え付けの申込書でも登録できます。

第2期 庄原市行政経営改革大綱策定へ “皆さんの意見” “パブリックコメント” を募集します

効率的な行政施策を
実施するための基本方針

『庄原市行政経営改革大綱』

市は、社会の変化や行政の課題、市民ニーズに対応した、より効率的な行政施策を実施するために「第2期庄原市行政経営改革大綱」の策定に取り組んでいます。

平成25年7月に18歳以上の市民3000人を対象とした市民アンケートを実施し、この結果を参考として、現在大綱素案を作成しています。

今回のパブリックコメントで広く市民の皆さんの意見をお聞きし、あわせて、学識経験者や市民の代表などで組織する「庄原市行政経営改革審議会」で、内容を審議いただいで大綱を策定します。

意見募集の対象者

- 市内に住所を有する方
- 市内に通勤・通学している方
- 市内に事務所または事業所を置く個人・法人・その他団体
- 本大綱（計画）に係る利害関係者

大綱案の閲覧と意見などの提出方法
企画課および各支所企画調整室へ
閲覧用の大綱素案と意見書様式を用意しています。

必要事項とご意見などを記入の上、次の方法で提出してください。

- ①企画課・各支所企画調整室に持参
- ②郵送（〒727・8501 庄原市中本町一丁目10番1号 庄原市役所企画課政策推進係宛）
- ③電子メール
- ④ファックス

※大綱素案、意見書の様式は、市ホームページからも閲覧・ダウンロードできます。

募集期間 10月21日（月）～11月20日（水）

※郵送の場合は11月20日必着

問い合わせ 企画課政策推進係

☎0824・73・1112
FAX0824・72・3322
電子メール
seisaku@city.shobara.hiroshima.jp

パブリックコメントとは？

市の基本的な施策や計画を策定しようとする際に、あらかじめ計画案を公表し、市民の皆さんから意見や情報をいただき、寄せられた意見などを考慮した上で意思決定を行う手続きのことです。

市は皆さんからいただいた意見や情報に対して考え方を公表し、出された意見などを考慮して最終的に意思決定を行います。

今年の冬は ペレットストーブ で温まりませんか？

—ペレットストーブ等購入促進補助金—

市はペレットを原料としたストーブやボイラーなどを購入する方に対し、補助金を交付しています。また、庄原の森林資源を原料としたペレットを製造しています。

今年の冬は、地元産のペレットを燃やして温まりながら、エネルギーの地産地消、森林資源の有効活用に取り組んでみませんか。

林業振興課木質バイオマス係 ☎0824-73-1130

悩みの「竹」を「資源」に 竹チツパリ 貸し出します

市は、木質バイオマス利活用の一環として、繁茂する竹林への対策と竹資源の有効活用のため、竹チツパリを貸し出しています。

竹は有効利用が注目されており、市内でも粉碎した竹を農作物の肥料として利用して特産化している地域もあり、全国各地で竹資源の活用が広まりつつあります。

貸出対象者

次のいずれかに該当し、かつ竹チツパリを市内で使用する方。
・市内に住所を有する個人
・市内の自治組織
・その他市長が認める者

料金

1日当たり1万2600円（税込み）

その他

○竹チツパリの運搬を希望する場合は、別途運賃がかかります。事前にご相談ください。

○同一の方の累計使用時間が100時間を超えた場合は、消耗品などの負担をお願いしますので、ご了承ください。

- ◆補助対象となるストーブ・ボイラー
ペレットまたは薪を燃料として使用する設計・仕様で、市内の販売業者が取り扱うもの。
- ◆補助額
ストーブ・ボイラー本体の購入・設置・配管に係る直接的経費の3分の1以内で、ストーブは上限額12万円、ボイラーは上限額50万円。
- ◆受付期間
申し込み期限はありませんが、交付総額が予算枠に達した時点で終了となります。
- ◆申請手続き
対象となる方の要件や申請手続きに必要な書類など詳しい内容は、林業振興課までお問合せください。

ペレットと灯油のコスト比較【平均価格比較】

燃料	価格（税込み）	熱量
ペレット	50円/kg（運賃込み）	4,600cal
灯油	110円/ℓ（運賃抜き）	8,240cal

※ペレット価格…市内平均価格、灯油価格…8月の県内平均価格、熱量…市の試算数値

熱量から換算すると、灯油1ℓ＝ペレット1.8kg、灯油1ℓ＝110円、ペレット1.8kg＝90円となります。

また、1シーズンにペレット1,000kg使った場合は、灯油使用量約560ℓ、二酸化炭素排出量約1.4tの削減につながります。（ただし、1シーズンのペレット使用量は、各家庭でそれぞれ違います。）

ペレットストーブは、煙突の設置や定期的な専門業者のメンテナンスが必要となる場合があります。購入を検討する場合は、市内の取扱業者にご相談ください。



仕様
定格出力：約30馬力
外形寸法：全長2,230mm
本体重量：1,060kg
全幅1,200mm
最大処理径：172mm
全高1,815mm

ペレットの詳細、竹チツパリの貸し出し手続きや料金など詳しい内容は、庄原さとやまペレット株（☎0824・72・6310）へお問い合わせください。

私たちが行政相談委員にご相談ください!

皆さんは、毎日の暮らしの中で、国の行政に関して、「どうしたらよいかわからない」「こうしてもらいたい」といったことを感じたことはありませんか？
総務省の「行政相談」はそのような苦情や意見・要望を解決するとともに、これを基に行政運営の改善につなげていく活動です。
本市では、総務大臣から委嘱を受けた7人の行政相談委員が、次の日程で相談を受け付けています。秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

各地域の行政相談委員と定期相談日・受付時間、相談場所は次のとおりです。

- ① 自宅電話番号
- ② 10月以降の定期相談日
- ③ 定期相談場所



庄原地域

みよし かずひろ
三吉 和宏

① ☎0824-72-4837
② 毎月第3木曜日 13時～16時
③ 庄原市ふれあいセンター ☎0824-72-7120

西城地域

さくだ
作田ユリコ

① ☎0824-82-3048
② 10月17日・12月19日・2月20日 13時30分～16時30分
③ 西城保健福祉総合センター(しあわせ館) ☎0824-82-2202

東城地域

たきもと まさこ
瀧本 昌子

① ☎08477-4-0650
② 毎月第3木曜日 13時30分～15時30分 ※12月は12日
③ 東城支所 ☎08477-2-5121

口和地域

いしだ いずなり
石田 凜也

① ☎0824-89-2022
② 10月24日・2月27日 13時30分～15時30分
③ 口和保健センター ☎0824-89-7070

高野地域

いのうえ きよのり
井上 清憲

① ☎0824-86-2732
② 10月8日・12月10日・2月18日 13時～15時
③ 高野支所 ☎0824-86-2115

比和地域

わかばやし たかし
若林 隆志

① ☎0824-85-2698
② 1) 10月17日・12月5日 2) 2月20日 13時30分～15時30分
③ 1) 比和自治振興センター ☎0824-85-2600
2) 比和支所 ☎0824-85-3001

総領地域

あきやま よしはる
秋山 義治

① ☎0824-88-2217
② 毎月第2水曜日 9時～11時
③ 総領健康福祉センター ☎0824-88-3110

※都合により、日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。
※定期相談日以外にも相談できます。事前に行政相談委員へご連絡ください。

総務省はいつでも行政相談を受け付けています
中国四国管区行政評価局(広島市中区上八丁堀 6-30 電話番号 0570-090110〔行政苦情 110番〕)が窓口となり、ご相談に応じています。お困りの際はいつでもご相談ください。
※ PHS や一部 IP 電話などからはつながることがあります。その場合は 082-222-1100 へおかけください。
※ 総務省が実施している電話相談は、相談内容の正確な把握のため録音されています。

11/10(日) 広島県知事選挙

— 広島の 明るい未来を この一票で —

任期満了による広島県知事選挙が、10月24日(木)告示、11月10日(日)投票の日程で行われます。
この選挙は、私たち県民一人一人の暮らしにつながる、身近で大切な選挙です。住みよい広島県を築くため、投票日には必ず投票に行き、貴重な一票を投じましょう。

■投票日時
11月10日(日)の7時から18時まで。(ただし、一部の投票所は19時まで)

■投票所
市内80カ所。投票場所は入場券に記載されています。投票所名・投票時間をよく確かめて、所定の投票所にお出かけください。

■期日前投票
仕事や用事などで投票日に投票へ行けない人は、10月25日(金)から11月9日(土)までの毎日8時30分から20時まで、市役所本庁および各支所で期日前投票ができます。

■不在者投票
① 旅行や出張などで、選挙期日の投票も期日前投票もできない人は、事前に手続きをすることで滞在先の選挙管理委員会に投票することができます。
② 病院に入院中や、老人ホームなどへ入所中の人は、その施設内で投票することができます。
③ 身体の障害の程度が一定基準以上の場合は、事前に選挙管理委員会に申請し証明書の交付を受けることで、自宅で郵便などにより投票することができます。

※不在者投票を予定している人は、お早めに選挙管理委員会へお問い合わせください。

問い合わせ
選挙管理委員会事務局
☎0824・73・1126



その② 鳥獣害はカキから

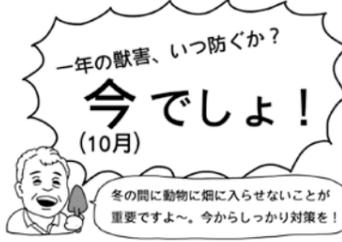
私にもできる獣害対策
100歳まで楽しめる
野菜づくり

林業振興課 林業振興係
☎0824・73・1124

山の田畑の楽しさアップ(その7)
今月は基礎知識の総復習。何度も同じ話をするかも知れませんが、獣害対策で大切なのは基礎知識です。そして、なぜ、今、もう一度総復習かというと、1年の始まりは正月、学校や役所は4月から、そして獣害対策は10月が年度初めだからです。

今月の豆知識
その① 10月に始まる餌付け
獣害とは、あなたが自分の田畑へ動物を餌付けしただけ、対策とは餌付けをやめるだけでしたよ。
山野で動物の餌が最も枯渇するのは晩秋から冬。ところが、集落の田んぼには、ヒコバエのコメやレンゲなどの餌があふれています。中には大きくなり過ぎた秋キュウリ、ハクサイの外葉などを捨てる人も。それなのに、稲刈りの後、柵の入り口を開けたままの人や電柵の電源を切ってしまう人がいますよ。しっかりと柵を手入れして動物を入れてはいけないのは、今から春までですよ!

美しく色づいたカキは山間集落の秋の風物詩ですが、収穫もしないカキは餌付け(被害激化)を進める最大の餌源です。
食べたいから、出荷したいからと植えたのに、収穫しなくなったからと伐採もせず、実をならせつ放しにしておくという人間の身勝手な行為こそが餌付けなんです。
その③ 柵の点検も今月から
植林地のシカネットも、集落の長距離柵も、谷の田んぼ何筆かを囲った中距離柵も、個人の田畑の小規模柵も、今が点検のチャンスです。
柵沿いに歩いてみて柵の内外両側にクワリ、ドングリ、ギンナンなどの実が落ちている柵は、動物に「柵さえ探せば餌がある」ことを教える逆効果の餌付け柵でしたよ。今のうちにそういう木だけでも切っちゃいましょう。柵際に摘果実、落下果実がたまっているような果樹園の柵も、柵の手に暴風ネットを使って果実止めの防波堤作ってくださいね。



近畿中国四国農業研究センター
井上雅央

地域の安全安心を守る
消 防 団

広島県消防ポンプ操法競技大会
比和方面隊が出場

火災現場における消防団員の基本的動作、器具操作、そして放水技術の向上を目的にした広島県消防ポンプ操法競技大会が9月7日、広島県消防学校（広島市安佐北区倉掛）で開催され、広島県内の19市町の代表22チームが出場しました。

庄原市からは、昨年8月に行われた庄原市支部大会で優勝した比和方面隊第2分団第2部（三河内地域）が出場。地元団員や後援会、地域住民など約140人が応援に駆けつけました。比和方面隊は、今年の3月から本格的な訓練を開始し、近隣市町の消防団を視察するなど、工夫を重ねながら長期間の訓練に取り組んできました。すべて



緊張の操法開始前
筒先員交代！
必勝比和方面隊三河内チーム
選手・応援団員が一丸

出し切り競技を終えた選手は涙ぐみながら「いろいろな面で支えていただき、ありがとうございました」と、声援に返っていました。
訓練の指揮を執ってきた梅津孝晴比和方面隊長は「庄原市消防団の代表というプレッシャーをよくぞ乗り切ってくれた」と選手をたたえていました。

庄原市消防団
団員募集 !!

消防団は本業の仕事を持ちながら、地域の消防防災の要として消防活動はもちろん、災害時には警戒、避難、救助など市民の安全安心を守る組織です。私たちのまちを守るため、一緒に活動しませんか。

全国的に女性消防団員が増えています。庄原市でも3人の女性が消防団員として、活動しています。女性の方も積極的な入団をお願いします。

詳しくは、危機管理課または各支所企画調整室までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ
危機管理課危機管理係
☎0824-73-1206

保健医療課
**看護職復職へのきっかけづくり
看護職のための再チャレンジセミナー**

市と県は、看護職に再就業を目指す方を応援する「看護職のための再チャレンジセミナー」を9月11日、庄原市保健福祉センターで開催しました。

県内の元看護職の方を対象にしたこのセミナーは、平成23年度にスタートし、今年8月9日会場で開催されています。

今回初めて開催した庄原会場では4人の方が参加。広島県健康福祉局医務課の坂本恵子さんと庄原赤十字病院看護部長の中藤好美さんが、最近の医療・看護の動向について紹介した後、実際に復職した方が参加者へメッセージを送りました。

また、広島県看護協会ナースセンター事業部長の藤本浩子さんが同センターの概要や研修制度について紹介しました。

藤本さんは「看護職は全体的に不足している。医療現場では1人増えるだけでも大変大きな力になる。ナースセンターでは看護職への復職支援を行っているという方は、ぜひ相談してほしい」と話しています。

看護職への復職、支援に関することは、広島県ナースセンター（☎082・293・9786）までお問い合わせください。



講演する庄原赤十字病院の中藤看護部長



参加者と看護職関係者などで意見交換

安心・安全な毎日のために

ドクターヘリ運航開始！

ドクターヘリは、医療器具や医療品を装備し、医師・看護師が搭乗して救急現場などに向かい救命治療を行う専用のヘリコプターです。

ヘリポートに医師・看護師が待機し、消防機関からの要請で救急現場に出動。傷病者を適切な医療機関に搬送します。いち早く治療を開始することで傷病者の救命率の向上や、後遺症の軽減が図られ、中山間地の救急医療の充実強化につながります。

広島県では本年5月1日から運航を開始し、庄原市にも飛来し活動しています。庄原市は島根県の航空基地が近いので、島根県ドクターヘリを第1選択として要請（6月10日開始）します。

ドクターヘリの飛来に際し、交通規制などご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

庄原消防署 ☎0824・72・9911
東城消防署 ☎08477・2・4005

暖房器具からの火災を防ごう！

- 暖房器具を使用する季節が近づいてきました。暖房器具を使用する前には必ず器具の点検をしましょう。
- また、次のことを守って使用しましょう。
- 暖房器具の周りに燃えやすいものを置かない。
 - カーテンが接触しないようにする。
 - ストーブの近くで洗濯物を干さない。
 - 火を点けたまま移動しない。
 - 給油するときは消火して行う。
 - カートリッジ式タンクのもものは、タンクのふたを確実に締める。
 - ガソリンと灯油を間違えて給油しない。
 - 寝るときや外出時には必ず消す。



情報政策課
**地域の魅力を一体的に発信
庄原市PRロゴマーク作製**

市はシティプロモーションの一環として、庄原市PR用ロゴマークを作製しました。

今後、ロゴマークを使用したピンバッジなどを作製したり、市が作るさまざまな媒体（印刷物・ホームページなど）へ掲載したりするなど、市外に向けて庄原市を一体的にPRしていきます。

申請手続きなど詳しくは、情報政策課広報広聴係（☎0824・73・1159）までお問い合わせください。



庄原いちばんの文字、キョロやまくんの帽子、ヒバゴンのリュックサックの色は、幸せや暖かさをイメージさせる黄色を採用。

キャッチフレーズは、木山耕三市長が公約で掲げている「庄原いちばんづくり」から、「庄原いちばん」としました。キャラクターデザインは、庄原市観光キャラクターである「キョロやまくん」と、出没から40年以上経過しても全国的に有名な「ヒバゴン」をキャラクターとして入れ、デザインしています。キョロやまくんは比婆山・道後山・吾妻山など庄原の山の風景も連想してもらい、ヒバゴンがリュックを背負って庄原の山で宝探しをしているイメージでデザインしています。

このロゴマークは、申請により無料で使用できますので、市民の皆さんもぜひ活用をお願いします。



Report 3 はっばの日に吾妻山探検 第25回グリーンラリー

吾妻山グリーンラリーが8月8日『はっばの日』に開催され、鳥取県をはじめ市内外から37人が参加しました。

これは、吾妻山の大自然と触れ合うことを目的に比和地域で考えられた競技で、樹木の名前を調べながら吾妻山を散策し、設定時間でのゴールを目指します。

参加者は、比和自然科学博物館で樹木について学習した後、吾妻山へ移動し、約2.5キロのコースを設定時間2時間10分でのゴールを目指しスタート。競技が始まると、樹木の名前を懸命に調べる親子連れの姿があちこちで見られました。

参加者は「街中とは別世界。水も冷たい」と、大自然を満喫し、日ごろのストレスを解消していました。



▲葉を調べる参加者

Report 4 中学生が自分の思いを言葉に込め発表 備北地区中学生意見発表会



▲参加者全員で

備北青少年健全育成連絡協議会が主催する備北地区中学生意見発表大会が8月20日、庄原市ふれあいセンターで開催され、庄原、三次両市の中学校計19校から38人が参加しました。

この大会は、毎年開催され今回で26度目になります。

生徒は250人の聴衆を前に、自ら決めたテーマをもとに自分の考えを5分程度にまとめて発表。部活動や家族、地域のことなどについて幅広い意見が発表されました。

佐々木悠人くん（東城中2年）は「大勢の前で緊張したけど自分の思いを伝えられてよかった」と話していました。

Report 5 農業体験で高野ファン拡大を目指す たかの体験「とうもろこしと枝豆の収穫体験」

高野ファンを増やし定住者が増えるきっかけをつくる体験イベントの第1弾「とうもろこしと枝豆の収穫体験」が8月17日、上高自治振興区の主催で行われました。

このイベントは、農業体験を通じて高野の魅力を伝え、交流人口を増やし、定住に結びつけようと企画されたもので、58人（うち51人が市外）が参加しました。

イベント開始と同時に、目当ての場所へ移動した参加者は、5アールほどの畑に植えられたみずみずしいとうもろこしをうれしそうにもぎ取っていました。とうもろこしは開始後1時間足らずで、あっという間になくなり、大盛況。

事務局で地域マネージャーの宇山勝守さんは「第1弾としては上々の滑り出し。今後は、宿泊や地域行事をからめたメニューを企画・実施していきたい」と意気込んでいました。



▲枝豆を収穫する参加者

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1 トマトでつながる人の輪、地域の輪 道後山高原トマト倶楽部「収穫祭」

道後山高原トマト倶楽部主催の「収穫祭」が9月7日、西城町三坂の道後山高原で行われ、市内外から約20人が参加しました。

同倶楽部は、三坂の土地、気候と相性が良いトマト品種「麗夏」を多くの方に知ってもらいたいと、春の「定植祭」から今回の「収穫祭」までの一連の催しを企画。

まずは、イベントのメインであるトマトケチャップづくりに挑戦。参加者は、真っ赤な完熟トマトを湯むき、ざく切り、裏ごしして下ごしらえ。寸胴鍋で煮込み始めるところまで調理を行いました。その後トマトハウスへ移動しトマトを収穫。ナスやオクラ、かぼちゃなどさまざまな野菜がもぎ取れるとあって、子どもから大人まで夢中で収穫していました。

収穫後は、参加者全員で作ったピザと一緒に、トマトと地元産品を使用したランチやデザートで庄原の味覚を堪能。煮込んだトマトケチャップは全員で味見して持ち帰りました。

参加者からは「トマトの幅広い食べ方に驚いた。我が家でも麗夏を栽培してケチャップ作りに挑戦した

い」、「アットホームな雰囲気で、参加者全員が昔から知っている人ようだった」という声が聞かれ、地域や年齢を超えて楽しい時間を過ごしていました。

同倶楽部代表の栃木明美さんは「トマトや野菜への親しみが、提供者・生産者への親しみにつながったと思う。来年もまた企画したい」と収穫祭の成功を喜んでいました。



▲トマトケチャップづくりの様子

Report 2 庄原から「花と緑のまちづくり」を発信 第1回さとやまガーデンサミット



▲石原さんの寄せ植えパフォーマンス

庄原市ふるさと大使であり世界的ガーデナーの石原和幸さんを招いて9月14日～16日、庄原さとやまガーデンフェスティバルが国営備北丘陵公園で開催

されました。そのシンボル行事として9月14日、「第1回さとやまガーデンサミット」が開かれ、約200人が参加しました。

西日本各地で「花と緑のまちづくり」に取り組んでいる三田グリーンネット（兵庫県三田市）、善通寺ガーデンクラブ（香川県善通寺市）、日本庭園由志園（島根県松江市）と、庄原市のしょうばら花会議がそれぞれの活動を発表しました。

その後、石原さんをコーディネーターにパネルディスカッションが行われ、活動を継続していく秘訣や、

花と緑で地域を盛り上げる取り組み、サミットを機に各地が連携していくことなどについて意見が交わされました。

サミットの中で、石原さんが寄せ植えパフォーマンスを披露。直径約1mの大きな鉢に秋のさとやまをイメージした寄せ植えがあっという間に完成し、観衆からは歓声が上がりました。

参加者からは「私もまず自宅の庭から花いっぱいにしていきたい」「各地のすばらしい取り組みは学ぶべき点が多かった。実際に行ってみたい」などの声が聞かれました。



▲パネルディスカッションの様子



Report 9

認知症について楽しく学ぶ 放課後児童クラブが認知症サポーター養成講座開催



▲寸劇で認知症を楽しく学ぶ

地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」の養成を目的にしたもので、研修を受けた病院や介護施設などの職員で構成されたキャラバ

東城・小奴可・八幡放課後児童クラブの児童 66 人を対象にした「認知症サポーター養成講座」が 8 月 8 日、こどもの館で開催されました。

この講座は、

ンメイトが講師となり、全国の学校や企業などでも幅広く行われています。

この日、児童たちは「認知症」について話を聞いた後、寸劇を見たりした後、〇×クイズに参加して、認知症とはどのような病気かを知り、どのように手伝えればよいかを楽しく学びました。

講座を終えた児童たちは「おじいちゃん、おばあちゃんに優しくしてあげよう」「笑顔で優しい声をかけてあげたい」などと話していました。



▲〇×クイズ

Report 10

伝統の舞を地域で継承 口和中学校神楽同好会定期公演



▲伊吹山の場面

口和中学校神楽同好会の定期公演が 8 月 24 日、口和自治振興センターで開催され、町内から約 150 人が観覧に訪れました。

同会は結成時から毎年 1 回公演を行っており、今回で 26 回目。

5 月から毎週月曜日に練習を重ねてきたメンバー 10 人は、5 つある演目を、時に舞い手として、時に楽団として出演し、観客の声援を受け、約 4 時間の公演を無事務め上げました。当日は同会の卒業生や常定神楽の継承活動を続けている戸山会のメンバーも裏方として加わり、公演を盛り上げました。

観客は「中学生の舞いとは思えない神楽だった」と興奮気味に話していました。

出演した生徒は「少ない人数だが、今後も頑張って続けていきたい」と笑顔を浮かべていました。

Report 11

JR 備後庄原駅前ににぎわいを 「おっ！庄原駅前フェスタ」が開催

地域住民や事業者などでつくる庄原駅前周辺地区まちづくり協議会が主催する「おっ！庄原駅前フェスタ」が 9 月 20 日、JR 備後庄原駅周辺で開催されました。

このイベントは、7 年後の完成を目指して整備が進められている「土地区画整理事業」を知ってもらい、駅前周辺のにぎわいづくりにつなげようと同協議会が企画しました。

当日は、駅舎前のスペースや空き店舗に出張店舗がお目見えし、また備北交通㈱「まごころツアー感謝祭」も同時開催され、駅前周辺は多くの人でにぎわいました。

駅舎の待合室で懐かしのレコードを楽しむ蓄音機コンサートには、1 部 2 部合わせて 100 人を超える人が集まり、100 年前の蓄音機の音色に酔いしれていました。

同協議会の西田学会長は「庄原駅前ににぎやかになってほしいという願いがある。人が集まれば魂も吹き込まれる。今回空き店舗に出店いただき活気が生まれた。こうした活用がもっと増えればにぎわいも生まれてくると思う。7 年後には東京オリンピックも開催されるので一緒に盛り上げたい」と話していました。



▲駅舎の待合室で蓄音機の音色を楽しむ人

Report 6

体験を通じて農業の大変さを学ぶ 総領保育所が稲刈り体験

総領保育所の子どもたち 31 人が 9 月 18 日、地元の山根啓荘さんの田んぼで稲刈りを体験しました。

雲一つない快晴のもと、園児たちは地域の方に鎌の使い方や稲を刈るコツを教えてもらいながら、4 アールの田んぼに黄金色に育った稲を元気よく刈り取っていきま

した。作業を終えると、地域の方から刈り取った稲がお米になるまでの流れを教えてもらいました。

総領保育所の吉原弘美所長は「5 月の田植えから始まり、かかし作り、今回の稲刈りと、農業を体験して子どもたちも農業の大変さを感じてくれたはず。これからも農業に触れる機会を作っていきたい」と話していました。



▲稲を刈り取る園児

Report 7

広島と鳥取両県の知事が高野で意見交換 第 3 回鳥取・広島両県知事会議



▲意見を交わす平井鳥取県知事（左）と湯崎広島県知事

湯崎英彦広島県知事と平井伸治鳥取県知事による鳥取・広島両県知事会議が 8 月 23 日、高野町のふるさと村高暮を会場に行われました。

この会議は共通する政策課題などについて認識を深め、連携を図り対応していくことを目的に両県で交互に開催。両知事は会議に先立ち、道の駅たかのを視察。「雪室」などの施設や「高野の逸品」の取り組みなどについて、道の駅スタッフから説明を受けながら見学しました。

会議では中国地方の広域連携や高速道路などのネットワーク整備の促進、観光連携などについて意見を交わしました。



▲道の駅たかのを視察

Report 8

地域防災力の向上を目指す 上谷自主防災会が防災訓練を実施

上谷町の上谷自主防災会は 9 月 1 日、防災の日にちなみ、地域内で防災訓練を実施し、会員約 40 人が参加しました。

訓練は、大雨による土砂災害の危険性が高まったことを想定し、市の避難勧告発表を受けて実際に避難を行いました。

まず、市から連絡を受けた藤川廣明会長が 6 つの集落の班長に連絡し、班長は会員に連絡。連絡を受けた会員は集落ごとに決められた場所へ一時避難し、そこから集団で広域避難場所である、上谷コミュニティーセンター（いきいき館）へ避難しました。

そのあと、「災害への備え」をテーマに行われた講演会では、8 月 30 日から運用が開始された特別警報について市の職員から説明を受けました。近年、各地

で甚大な自然災害が発生していることもあり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

藤川会長は「訓練を通じて、いざというときの行動力が身につく。知識の向上にもつながり大変有意義な訓練になった」と話していました。



▲特別警報の説明を真剣に聴く参加者

健康広場

healthy column



西城市民病院 内科部長
田中 惣之輔

長引く せき・痰・息切れ にご注意!

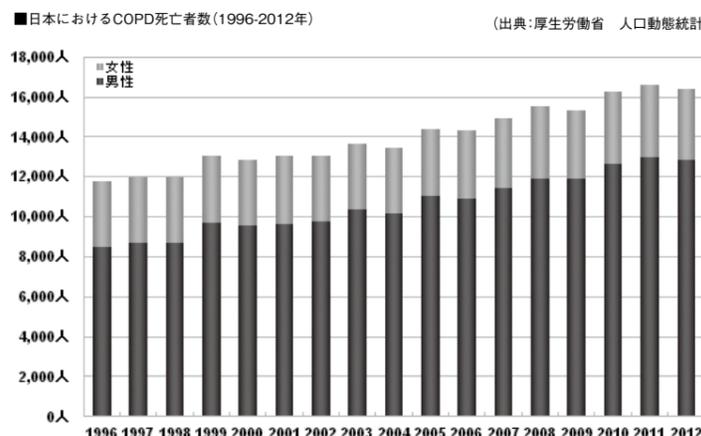
咳や痰が出たり、息切れしたりすると、単なる風邪や年のせいだと思っていませんか？
3週間未満の咳は風邪などの感染症によることが多いですが、それよりも長引く場合や、息切れ、血痰、息を吐くときヒューヒュー音がするなどの症状を伴う場合には、気管支ぜんそく、肺結核、肺がん、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの病気が隠れていることがあります。
今回はCOPDという病気をご紹介します。

COPDとは？

COPDは、一言で言えば息が吐きにくくなる病気で、慢性的な咳や痰、動いたときの息切れなどが代表的な症状です。原因の大部分は喫煙で、タバコに含まれる有害な化学物質によって肺や気管支に炎症が起こり、肺の破壊などを来すのです。さらに、その影響は肺にとどまらず、骨粗鬆症、筋力低下、抑うつなどに関連しているとも言われています。



■日本におけるCOPD死亡者数(1996-2012年) (出典:厚生労働省 人口動態統計)



COPDの治療と予防は？

現時点で、壊れてしまったものを元に戻すすべはありません。治療と予防の第一歩は原因であるタバコを止めることです。その上で薬物療法や、インフルエンザウイルス、肺炎球菌に対するワクチン接種などを行うことで、COPDの予後改善が期待されます。心当たりのある方は、早速かかりつけの医師にご相談ください。

生活相談

身体障害者補装具判定会

「聴覚」10月17日(木) 受付 13時～14時

ところ

広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4・6・1
※1週間前までに社会福祉課
障害者福祉係へ予約を。
☎0824・73・1210

障害者相談員定期相談会

「庄原地域」
○知的 11月11日(月)
13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター
「高野地域」
○身体・知的 11月13日(水)
9時30分～12時

高野福祉保健センター
※事前予約もできます。
問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係
☎0824・73・1210

定期巡回児童相談

広島県北部こども家庭セン
ターが子育てに関する相談に

応じます。

●庄原地域

10月17日(木)・11月21日(木)
10時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに女性児童課
女性子ども支援係へ予約を。
☎0824・73・0051

●東城地域

10月25日(金)・11月22日(金)
10時～15時

ところ 東城支所

※1週間前までに東城支所市
民生活室へ予約を。
☎08477・2・5131

健康相談

広島県北部保健所(三次市
十日市東)で実施する健康相
談です。事前に電話でご予約
ください。秘密は厳守します。
○心の健康相談
ストレス、うつ病などの心
の健康に不安のある方やその
家族からの相談に応じます。

10月15日(火)・11月19日(火)
13時～14時

●エイズ検査・相談

検査は無料・匿名で受けら

れます。結果はその日にお知
らせできます。相談は随時受
け付けています。

10月9日(木)・11月13日(木)
13時～14時30分

申し込み・問い合わせ

広島県北部保健所保健課
☎0824・63・5181

人権相談

各地域で人権擁護委員が相
談に応じます。

●庄原地域

10月15日(火)・11月5日(火)
13時30分～16時30分

ところ

●東城地域

13時30分～15時30分

ところ

東城ふれあいセンター
●比和地域

13時30分～15時30分

ところ

比和文化会館

●総領地域

9時～11時

総領町健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会
☎0824・62・2572

境界トラブル面談

広島県土地家屋調査士会が
行う無料の境界トラブル面談
です。事前に電話でご予約く
ださい。秘密は厳守します。
とき 毎週水曜日
(祝日・夏季・年末年始は除く)
①13時30分～②15時30分

ところ 広島県土地家屋調査
士会(広島市東区二葉の里一
丁目2番44号)
問い合わせ

境界問題相談センターひろしま
☎082・506・1171

庄原市消費生活センター

契約のトラブルや多重債務
など消費生活に関する相談を
お受けし、解決のためのお手
伝いをしています。
お気軽にご相談ください。

とき 毎週月～金曜日
(祝日、年末年始除く)

9時～16時(12時～13時休
み)

市役所1階市民生活課内
☎0824・73・1228

広告 「この社会あなたの税がいきている」
—インターネットで申告・納税できる—
利用推進運動中
e-Tax (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>

公益社団法人
庄原法人会
めざまし
よき経営者による、正しい納税で
企業の繁栄と社会への貢献

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
HP: <http://www10.ocn.ne.jp/~shk/>

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話ください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》

庄原市役所女性児童課女性子ども支援係
☎0824-73-1243 [月～金9時～17時(年末年始・祝日除く)]

広島県西部 こども家庭センター	☎082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

金子みすず展

市内7会場で金子みすず展を開催します。金子みすずファンに人気のある23作品(詩)を、山口県長門市出身のイラストレーター尾崎真吾さんのイラスト入りでご覧ください。



- 東城会場 10月15日(火)~18日(金) 東城支所
- 西城会場 10月22日(火)~25日(金) しあわせ館
- 口和会場 10月29日(火)~11月1日(金) 口和支所
- 高野会場 11月5日(火)~8日(金) 高野支所
- 比和会場 11月12日(火)~15日(金) 比和自治振興センター
- 総領会場 11月19日(火)~22日(金) 総領健康福祉センター
- 庄原会場 11月26日(火)~12月3日(火) 市役所本庁舎

問い合わせ 総務課行政係
☎0824-73-1123

東城人権講演会



日本初のプロ車いすダンサーとして「心のバリアフリー」をテーマに積極的に活動。オートバイの事故で下半身麻痺となり、左手の握力もなくなる。現在はバリアフリー・ダンスユニット「リトル・ラブ」のリーダー。持ち前の明るさと行動力でさまざまなイベントや講演で活躍中です。

とき 10月12日(土) 13時30分~15時
ところ 庄原市東城文化ホール
講師 奈佐 誠司さん
演題 「ダンスで心のバリアフリーを！」
(講演・車いすダンス・体験コーナー)
問い合わせ 東城支所市民生活室
☎08477-2-5121

催し

『花と鳥と虫たち』と『小川光昭先生回顧展』

比和自然科学博物館では、県内の鳥類研究の第一人者であった故小川光昭さん(西本町)の功績を紹介する第68回特別展を開催します。
小川さんが作製した剥製標本、バードカービングや数々の美しい花・鳥・虫たちの写真をぜひご覧ください。
☎0824・85・3005

西城町生涯学習フェスティバル

西城地域の個人や団体が活動の成果を発表する「生涯学習フェスティバル」を開催します。皆さんぜひお越しください。
●であいとふれあいフェア
芸能などの活動に取り組み団体がその成果を発表します。
とき 10月19日(土)
10時~16時
ところ ウィル西城
●庄原市西城町美展
西城地域の皆さんの作品や、小・中学校、紫水高校の児童生徒の作品を展示します。
とき 10月19日(土)~21日(月)

9時~18時(ただし、19日は9時30分から、21日は13時まで) ところ 西城自治振興センター
問い合わせ 西城自治振興センター
☎0824・82・2175

第1332回西城ふるさと祭り&第1331回庄原「みのりの祭り」

西城ふるさと祭りと庄原「みのりの祭り」を合同で開催します。各団体の展示、屋台テントが並び、市内外の特産品・加工品など秋の味覚が楽しめます。そのほか、歌謡ショーやヒーローショーなどの各種ステージイベントで祭りを盛り上げます。

第26回しょうばら菊花展

しょうばら菊友会会員および市内小学校児童が丹精込めて育てた大菊から小菊盆栽までの作品が、一堂に展示されます。
開催期間 11月1日(金)~14日(木)
開催会場 かんばの郷庄原特設会場
問い合わせ 生涯学習課社会教育係
☎0824・73・1188

『を』をテーマに、家族みんなで楽しめるふれあい自然体験

いっばいのお祭りを開催します。
子育てを応援する市内の団体が力を合わせて、「地域のみんなと一緒に子育て」のメッセージを発信します。
とき 10月27日(日)
10時~14時
ところ 高原の家七塚一帯
内容 山のおそび場、ポニーや動物とのふれあい体験、アトラクション、育児用品のリースイクル、各種バザー、子育て応援情報、搾乳体験 ほか
問い合わせ ことまわり実行委員会事務局(女性児童課女性子ども支

第9回庄原市美術展覧会

彫塑/工芸/書
11月3日(日)~8日(金)
【後期展】
日本画/洋画/写真
11月13日(木)~17日(日)
10時~18時
※11月5日(火)は休館日
ところ 庄原市田園文化センター
問い合わせ 庄原市田園文化センター
☎0824・72・1159

3B体操のつどいしょうばら

3B体操で体を動かす楽しさを感じ、健康と出会いに感謝して、みんなで笑顔とことばを交わそう。
とき 10月20日(日)
10時~12時
ところ 庄原市総合体育館
※室内シューズと運動ができる服装でお気軽にお越しください。
問い合わせ 正門恵美子
☎0847・41・6221

けんみん文化祭ひろしまスティーバル

けんみん文化祭ひろしま13を開催します。
庄原市では2年ぶりの分野別フェスティバル開催で、市内3団体を含む24の団体などが出演します。
皆さんお誘い合わせのうえ、秋の一日を「邦楽・日本舞踊」の公演でお楽しみください。
とき 10月27日(日)
10時30分~17時
ところ 東城文化ホール
問い合わせ けんみん文化祭庄原市実行委員会事務局
(生涯学習課社会教育係内)
☎0824・73・1188
FAX 0824・73・1254
電子メール syogai-syakai@ci ty.shobara.hiroshima.jp

とき 10月20日(日)
10時~15時30分
ところ 西城球技場
内容 牧村三枝子歌謡ショー、仮面ライダーガイムショー、その他各種ステージイベント、バザー・展示など。
問い合わせ 西城ふるさと祭実行委員会(西城支所企画調整室内)
☎0824・82・2121

第31回ふれあい東城まつり

東城地域の芸能の祭典。地元文化活動団体によるバラエティに富んだステージをお楽しみください。
とき 10月19日(土)
10時~15時30分
ところ 東城自治振興センター
問い合わせ 東城支所産業振興室内
☎08477・2・5003

東城まちなみぐらり散歩ギャラリー

昔の風情を色濃く残す城下町東城町。そのまちなみ約600坪が期間限定のギャラリーになります。商店や民家

にお宝や絵画、手作りの作品などが並びます。歩いて、観て、食べて、体験して、心癒やされる東城町へ訪れてみてください。
とき 10月26日(土)~11月5日(火)
10時~16時
ところ 街道東城路(東城町市街地)
問い合わせ 東城まちなか交流施設えびす
☎08477・3・0788

お通り

江戸時代に町の祈とうと五穀豊穡を祈願して、町内をご神体(みこし)が巡行したことに始まったといわれる伝統行事です。
大名行列と武者行列に、華童(わらべ)と山茶花の花をあしらった「母衣(ははろ)」が加わり、勇壮かつ華やかな行列が東城の町並みを巡行する時代絵巻です。
とき 11月4日(月)
12時~
ところ 東城町市街地
問い合わせ お通り保存振興会(東城町商工会内)
☎08477・2・0525



ブンカッキー

庄原こどもミュージカル

■とき 10月20日(日)
 第1公演 13:30~(開場13:00)
 第2公演 16:00~(開場15:30)
 ■ところ 庄原市民会館
 ■入場料 小学生以上 1,000円
 <前売券販売所> 庄原市民会館 ほか



▲昨年はオズの魔法使いを公演

今年の演目はサン・テグジュペリ原作の「星の王子さま」。次の時代に生きていく子どもたちに「今大切なこと」「今大切なもの」を、このミュージカルを通して伝えていきたいと脚色・演出されたオリジナルストーリーでお届けします。公募で集まった90人が多彩な役を演じます。5月から練習を積んできた子どもたちは、すばらしい舞台装置とすてきな照明の中で、役になりきり、歌に踊りにせりふに演技と笑顔が弾け、個性があふれます。1時間30分の感動の舞台が広がります。ぜひ、子どもたちの笑顔に会いに来てください。

問い合わせ 庄原こどもミュージカル事務局 ☎090-2006-6982

アンデルセンと、寺山修司と、劇団四季のミュージカル!

劇団四季 はだかの王様

世界中の人々に愛されるアンデルセンの童話を基に、詩人・劇作家の故寺山修司が書き下ろした劇団四季オリジナルのミュージカルです。

ある国にとってもおしゃれな王様がありました。王様は毎日、ファッションショーのように着替えるのがお楽しみ。そんなある日、ターザンのヒョウ柄のパンツもシンデレラのリボンも仕立てたという二人のデザイナーがやってきます。「とびぬけて愚かなものや、役に立たない者には見えない」布地で作ったという衣装をめぐってお城中が大騒ぎ!

さあ、あなたには王様の衣装が見えるかな?



■とき 12月8日(日)開演16:00(開場15:30)
 (上演時間:2時間15分(休憩含む))

■ところ 庄原市民会館
 ■入場料 一般 S席5,000円 A席3,000円
 小学生以下(3歳以上) S席3,000円 A席2,000円
 <前売券販売所> 庄原市民会館 ほか
 <電話予約>
 劇団四季予約センター 0120-489444 (10時~18時)

主催
 中国新聞社 / 中国放送 / 庄原市民会館 / 庄原市教育委員会 / 劇団四季

問い合わせ NPO法人 庄原市芸術文化センター ☎0824-72-4242
 生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188

平成25年度 県立広島大学市民公開講座(後期) テーマ:「大型機器で見る身近な世界—ミクロ探検隊—」

加速する科学技術の進歩により、私たちの生活を取り巻く環境も目まぐるしく変化しています。改良された生活環境や設備で生活することで、私たちはより便利で安全な生活を送っていますが、改良されるまでの技術の過程を知ることにより、今まで気づかなかったことが見えてくることもあります。今回の講座では、県立広島大学で生命科学・環境の分野で研究を進めている内容を実際に見学し、研究内容を学習します。普段は見ることのできない県立広島大学研究現場の最先端の世界に触れて、知識を深めましょう。

- とき 10月28日(月)~11月19日(火) 13:30~15:30
- ところ 県立広島大学庄原キャンパス
- 申し込み 10月15日から受け付け。電話、FAXまたは電子メールでお申し込みください。(住所・氏名・電話番号・年齢を明記)
- 定員 20人
- 講座日程

回	とき	講座名	ところ	講師
1	10/28(月)	食や飲料水の安全を確保する為に —化学物質について—	庄原キャンパス 環境工学実習室	生命環境学部教授 西村 和之
2	11/12(火)	身近なナノパイオ	庄原キャンパス3503	生命環境学部准教授 矢間 太
3	11/19(火)	身近な危険生物と自然毒	庄原キャンパス4307	生命環境学部助教 松本 拓也

※2回以上講座を受講した方には修了証を交付します。

申し込み・問い合わせ 庄原市教育委員会生涯学習課社会教育係 ☎727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号
 ☎0824-73-1188 Fax0824-73-1254 E-mail:syogai-syakai@city.shobara.hiroshima.jp

グランプリ・コンサート 2013



恒例となったグランプリ・コンサート。毎年、大阪室内楽コンクール&フェスタで優勝したグループを招いているコンサートです。

今年、「メニューイン金賞」を受賞したロシアのトリオ「国境なきクラシック」を招いて開催します。ロシアのみならず、ヨーロッパで最も活躍している屈指の演奏者の一つです。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

■とき 11月4日(月)開演14:00(開場13:00)
 ■ところ 庄原市民会館
 ■入場料 一般/2,000円(当日2,300円)
 60歳以上/1,000円(当日1,300円)
 ※高校生以下は無料(要整理券)

●共通●
 ※高校生以下は無料(要整理券) ※未就学児の入場はご遠慮ください。(要予約の託児サービスをご利用ください)
 チケット2大特典(市民会館での購入に限る。)

1.先着200人または一度に3枚以上ご購入の方に限り入場料10%割引 2.友の会会員の方はさらに10%割引
 前売券販売所 庄原市民会館/食彩館ゆめさくら/ザ・ビッグ庄原店/ジョイフル/サングリーン/CCプラザ

問い合わせ NPO法人 庄原市芸術文化センター ☎0824-72-4242 生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188

カルロス・ルルフィ楽団 “ベスト・タンゴ!”



カルロス・ルルフィ楽団
 タンゴの本場アルゼンチンから来日。リーダーのカルロス・ルルフィは、アルゼンチンタンゴ界で将来を担うバンドネオン奏者と言われ、力強いタッチと繊細なフィーリングを兼ね備えた見事な演奏を披露。歌手はアルゼンチンの実力派女性シンガー、カリナ・リベラが出演。ダンスは第一級のテクニックを誇るウーゴ&アンドレア、ハビエル&サブリーナのダブル。絶妙な足さばきを披露する華麗でセクシーなダンスをご堪能ください。

予定演目
 ラ・クンパルシータ/リベルタンゴ/
 アディオス・ノニーノ/エル・チョコロ/
 /レクエルド/パリのカナロ ほか

■とき 11月19日(火)開演18:30(開場18:00)
 ■ところ 庄原市民会館
 ■入場料 一般/4,000円(全席自由)

その他

日常生活用具給付事業の対象者に難病患者が追加されます

市は、障害者の方を対象に日常生活を支援する用具を給付していますが、この度から難病患者の方も対象になります。

交付を希望する方は、用具を購入する前に申請をお願いします。

対象者 市内に住所を有し、政令で指定された、130の疾患である方。(一部の用具を除いて在宅であることが必要です。)

給付する用具 ●介護・訓練支援用具 ●自立生活支援用具 ●在宅療養等支援用具 ●住宅改修費

費用の負担額 用具の給付に要する費用(費用が市の決めた限度価格を上回るときは限度価格)の1割と負担上限額を比較し、いずれか低い額。また、限度価格を上回る用具の給付を希望する場合には、上回った金額は給付決定者の負担となります。

負担上限額 世帯の市民税課税状況に応じて決まります。

【手続きに必要なもの】 ●印鑑 ●医師の意見書

制度改正により障害者手帳をお持ちでない難病患者の方も障害福祉サービスおよび補装具の給付が利用できるようになりまし。ご希望の方はご相談ください。

申請窓口・問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824・73・1210 各支所市民生活室

家屋の取壊しや新増築の届け出を!!

固定資産税は、その年の1月1日現在に、固定資産(土地、家屋、償却資産)を所有している方に課税される税金です。

家屋を取り壊した場合や、災害などによって家屋が滅失した場合には、「家屋異動申告書」を、税務課または最寄りの支所税務担当係に提出してください。(様式は税務課または支所に備え付けています。)

取壊しまたは滅失した家屋の固定資産税は、翌年度から課税されません。ただし、住宅を取り壊した場合には、土地に適用されている「住宅用地

に対する課税標準の特例」が適用されなくなるため、翌年度から税額が上がる場合があります。

また、家屋を新築・増築した場合や、家屋の用途を変更した場合は、住宅から店舗へ、店舗から倉庫へ変更も、あわせて連絡をお願いします。木造・非木造の別もお知らせください。

問い合わせ 税務課資産税係 ☎0824・73・1144

全国大会

●全国高等学校野球選手権大会 (8月8日~22日・阪神甲子園球場) 賢太

●全日本クラブ野球選手権大会 (9月6日~9日・西武ドーム) MSH医療専門学校 妹尾 勝利(東城町)

●全国障害者スポーツ大会 (陸上競技) (10月12日~14日・東京都調布市) ●ソフトボール投げ・ジャベリックスロウ 信清佐代子(総領町) ●立幅跳び・砲丸投げ 森信 正彦(川手町)

●全日本杖道大会 (10月6日・札幌市) 森崎 遼(庄原格致高1年)

●国民体育大会(剣道) (9月29日~10月1日・東京都足立区) ●成年男子の部 田淵 秀彦(西城町)

●国民体育大会(レスリング) (10月4日~7日・東京都文京区) ●成年男子の部 迫 昭人(田原町)

●全国障害者スポーツ大会(陸上競技) (10月12日~14日・東京都調布市) ●ソフトボール投げ・ジャベリックスロウ 信清佐代子(総領町) ●立幅跳び・砲丸投げ 森信 正彦(川手町)

●西日本大会 西日本学童軟式野球大会 (8月23日~25日・舞州ベースボールスタジアム・大阪市) ベスト8 東城ファイターズ

●県大会 中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会広島県決勝大会 (8月17日~18日・MAZDA ZOOM-ZOOM スタジアム広島 島ほか) 津優勝 東城ファイターズ

一人でも悩まないで まず相談してください。 業務のご案内 ●不動産の名義変更 ●成年後見 ●相続登記・遺言 ●会社の登記 ●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等 ●詳しくはホームページに書いています。 庄原 司法書士 検索

備北丘陵公園だより 備北公園管理センター ☎0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

日本最大級100品種のコスモスコレクション 「秋まつり」開催中! 10月20日(日)まで毎日開園! 10月13日(日)、20日(日)は無料入園日※駐車料金も無料

さとやま夢まつり 「アンパンマンショー」などのステージイベントと合わせて庄原の「食」を楽めるイベントです。 10月13日(日) 大芝生広場



コスモス

日本最大級100品種! 「コスモス」が見頃です 花の広場いっぱい咲き誇るドワーフセンセーションや、花びらが八重咲きや筒状になっている、コスモスには見えない変わり咲きの品種がご覧になれます。 10月19日(土)、20日(日)にはコスモスの切り花体験もあります。

さとやま手作りアートフェスタ 庄原をはじめ、中国地方のクラフト作家が公園に集合!! 皮、和紙、金属などを使った作品づくりの実演・展示や体験教室を開催します。 10月19日(土)・20日(日) 大芝生広場



花火

音楽と花火の祭典 「備北MUSIC FESTIVAL」 ミュージシャンのライブと打ち上げ花火1500発による音と光の祭典。 10月13日(日)※雨天決行 大芝生広場 出演 SoulJa、果山サキ、佐々木リョウ チケット(当日券あり) 高校生以上 1500円 小・中学生 500円 問い合わせ グリーンウインズさとやま ☎0824・72・7211

「庄原グランプリホテル」 「かんぼの郷庄原」 「国営備北丘陵公園」 展望レストランの4施設 シェフが集まり、庄原の秋の味覚をふんだんに使用した「グランシェフ秋の味覚フルコースディナー」を開催します。 庄原を代表するシェフの料理を一度に味わえる食のイベントです。 10月29日(火) 18時~20時 エントランスセンター国兼「レストラン国兼」 料金 一人1万2千円 (内訳 食事代1万円、入園料・駐車料・飲料代ほかで2千円) ※予約限定。 予定人数 50人 ※ただし、高校生以上に限る。 小児の同伴不可。 予約・問い合わせ グリーンウインズさとやま ☎0824・72・7211 ※イベントの詳細や花の情報は、公園ホームページまたは電話でお気軽にお問い合わせください。

グランシェフ秋の味覚フルコースディナー 「庄原グランプリホテル」 「かんぼの郷庄原」 「国営備北丘陵公園」 展望レストランの4施設 シェフが集まり、庄原の秋の味覚をふんだんに使用した「グランシェフ秋の味覚フルコースディナー」を開催します。 庄原を代表するシェフの料理を一度に味わえる食のイベントです。 10月29日(火) 18時~20時 エントランスセンター国兼「レストラン国兼」 料金 一人1万2千円 (内訳 食事代1万円、入園料・駐車料・飲料代ほかで2千円) ※予約限定。 予定人数 50人 ※ただし、高校生以上に限る。 小児の同伴不可。 予約・問い合わせ グリーンウインズさとやま ☎0824・72・7211 ※イベントの詳細や花の情報は、公園ホームページまたは電話でお気軽にお問い合わせください。

住友不動産の「新築そっくりさん」 古民家に新たな息吹、美しき再生。 住友不動産 新築そっくりさん 広島東営業所 〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階) TEL082-431-3525 FAX082-423-1751 フリーダイヤルでお気軽にお問い合わせ下さい。 0120-093-395 そっくりさんのブログさん http://sokkuri3.com/

人の動き 平成25年8月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 39,029人 (前年比-686人)
男 18,465人 (前年比-307人)
女 20,564人 (前年比-379人)
世帯数 15,967世帯 (前年比-65世帯)
【うち外国人】人口 276人 (前年比-30人)
【各地域の内訳】▶庄原地域18,993人(7,827世帯)
▶西城地域3,938人(1,523世帯)▶東城地域8,747人(3,757世帯)▶口和地域2,225人(833世帯)▶高野地域2,008人(710世帯)▶比和地域1,589人(655世帯)▶総領地域1,529人(662世帯)

休日診療のご案内

10月・11月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始
☎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155 (保健医療課)

Table with 3 columns: Date, Hospital, Phone Number. Includes dates from 10/13 to 11/4.

ロビーコンサート

と き 10月21日(月) 12時15分～55分
【28日が県知事選挙期日前投票所になるため】
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 岩田 英憲 (パンフルート)
岡川 玲子 (エレクトーン)
曲 目 サンライズ・サンセット
コンドルは飛んで行く ほか
▶岩田英憲…国立音楽大学卒業後、ウィーン市立音楽院、ウィーン国立音学大学を卒業。ルーマニアでパンフルートの奏法を学んだ初の日本人。NHK「新日本探訪」のテーマ曲ほか演奏。廿日市市在住。
▶岡川玲子…相愛大学音楽学部作曲学科音楽学専攻卒業。平成7年からパンフルート岩田英憲の伴奏。現在、ヤマハミュージック中四国システム講師。エリザベト音楽大学非常勤講師。広島市在住。

広報日記

私的なことですが、私は大のカーブファン。この日記を書いている時点では、まだCS出場は決まっていますが、ぜひCS進出を決めてほしい。そうすれば、自分のもとよりカーブ応援隊をはじめ、カーブを応援する庄原の皆さんが元気になるはず！▶さて、暑い夏も過ぎ、朝晩がとて過ごしやすいになりましたね。「爽りの秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」と言いますが、何かに打ち込んだり、おいしいものを食べたりと、心身が充実する条件が整う季節ではないでしょうか。今月は、市内でさまざまなイベントや催しがあちこちで開催されますので、この機会にぜひ足を運んでみてください。◎

食育コーナー

命をつなぐ防災食育 ～庄原市立田森保育所～

地震や異常気象による自然災害は、いつ襲ってくるかわかりません。日頃から命を守りつなぐための防災意識を高める保育を行っています。

田森保育所では9月3日、防災の日の取り組みとして、調理員の指導で缶詰や乾物を使って簡単にできる防災メニューを園児と保護者で作りました。乾物サラダ・さば缶チャーハン・切り干し大根のケチャップ煮など6種類のメニューを実習し、広告紙で折った皿に盛り付けて試食しました。

園庭内に手作りかまどといろりがあり、週に一度は年長児がはがまでご飯を炊くのが伝統です。かまど周辺の掃除、水や焚き木の準備、米研ぎ、点火から最後の蒸らしまで、一連の作業を園児が行います。「はじめチョロチョロ、なかパッパ、赤子泣いてもふたとるな」と唱え、火の番をしながら炊き上げます。今回は、いり豆ご飯を炊きました。
今後も、道具や火を使い生活ができる、非常時に役立つ取り組みに力を入れていきます。



防災メニューを親子で調理



かまどの前で火の番をする園児

母子保健コーナー

自然と遊びませんか？

市内には自然いっぱいの遊び場がたくさんあります。外出しやすいくこの時期に、小さい時から自然に触れる機会を持ちましょう。

- 《市内にある自然いっぱいの遊び場》
【庄原】上野総合公園(遊)・北公園(遊)
【西城】県民の森(川)・クロカンパーク(山)
【東城】東城町小奴可保育所無料開放(遊)
⇒月～土の(8:00～17:00)
【口和】鮎の里(池)←鯉への餌やり可
口和運動公園(遊)・ほたる見公園(川)
【高野】かっぱ公園(川)・緑の村文化センター(遊)
【比和】比和運動公園(遊)
【総領】アースワーク河川公園(池)

県民の森でそりすべり

※(山)…山遊びができます
(遊)…遊具があります
(川)…川遊びができます
(池)…池があります
【おでかけ時に持っていきたい物】
・帽子(日よけ)
・水筒またはミルクなど(脱水予防)
・タオル(汗拭き用)
・ウェットティッシュ
・ビニールシート
(オムツ交換などに使えます)

自然豊かな環境の中で工夫しながら遊ぶことで、子ども自身がさまざまな経験を積むきっかけにもなり、『体力が向上し風邪などの病気にかかりにくくなる』『骨が丈夫になる』『五感が刺激され豊かな感性が育まれる』など、心身に良い効果があります。
この秋は、家族で外で思いっきり遊んでみてはいかがでしょうか。

時悠館

せきすい石鍾



上段:切目石鍾
下段:礫石鍾

写真の石器は、ただの河原石のように見えますが、石鍾と呼ばれる縄文時代の漁網の重りです。長軸の両端を打ち欠いたり、他の石でこすって切れ込みを入れたりしています。重りが網から外れないように、しっかりと結び付けるためです。打ち欠きのものを礫石鍾、切れ込みのあるものを切目石鍾と呼んでいます。

帝釈峡遺跡群をはじめ、中国山地の河川近くにある縄文遺跡からは、河原石を利用した石鍾、特に礫石鍾がよく出土しています。今から7,000～8,000年前の縄文時代早期から、すでに川で網を使って漁をしていたようです。切目石鍾は後期(3,000～4,000年前)になって使われはじめます。帝釈峡の遺跡から出土している石鍾の重さを見ると、20gに満たない軽いものや300g近くの重いものもありますが、40～70gくらいのものが多いようです。河川で使う石鍾は、瀬戸内海などの海岸部のものに比較して軽いようです。

東城町の久代東山岩陰遺跡では、後期の13個の切目石鍾が網に付けられたまま置かれたような状態で見つかっています。このほかにもう1個出土しているので、一つの網には13～14個の石鍾を付けていたのではないかと推測できます。網や網目の大きさなどは分かりませんが、現代と似た方法で網を使って漁をしていたのではないかと考えられます。

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは交流サロンラッキー ☎0824-72-0075 まで
と き 11月9日(土) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはHPで http://kunchi-ichi.main.jp

犬・猫の引き取り

10月・11月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

Table with 4 columns: Location, Retrieval Date, Time, Place. Includes locations like 庄原地域 and 東城地域.

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。引き取りを希望する飼い主は、必ず事前に広島県動物愛護センター(☎0848-86-6511)に連絡してください。

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。
古布と和紙の手遊び 天野カツミ作
と き 11月8日(金)～10日(日)10時～16時
☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら

- 10月～11月のイベント情報
▶ゆめさくら講座
○郷土料理教室「中国山地の秋！ナバ料理」
と き 10月16日(水) 10時～14時
参加費 1,500円 定員 30人
○かずら教室～いす型の花台(午前の部)
白木のタペストリー掛け(午後の部)～
と き 10月18日(金) ①9時30分～12時
②13時30分～16時
参加費 ①2,300円 ②1,800円 定員 各10人
○草木染め教室
「シルクストールを染める～房付き」
と き 10月28日(月) ①9時～12時
②13時30分～15時30分
参加費 4,900円 定員 各10人
▶展示・催し物
○ゆめさくら秋まつり
と き 10月26日(土)～27日(日)
・もちつき大会 10時～
・新米ときのご汁の試食会 14時～
○中国物産展 11月8日(金)～15日(金)

献血のご案内

献血を次のとおり実施します。
本年度から血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、400ml献血限定で実施しています。
皆さんのご協力をお願いします。

Table with 3 columns: Date, Location, Time. Includes 10/24 at 庄原店.

市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
残高確認も忘れないでください。

- 税課課収納係 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

乗りんさい

芸備線

VOL. 9

備後三日市駅

三日市の外れにひっそりと存在するこの駅は、昭和5年4月25日、芸備鉄道の三日市停留所として開業しました。ホームには小さな待合室がひとつ。いわゆる駅舎はありません。小さな坂を上ったところにあり、周囲から駅を見ることはできません。ここだけに流れている時間を、誰かがこっそりと隠しているような、ちよつと特別な気分になれる空間です。



▲車両を待つ結斗くん（4歳）（平成25年9月19日撮影）

我が家の芸備線の楽しみ方、「ちよい乗り散歩」。

夕方、子どもたちと備後三日市駅まで徒歩で散歩。夕日を眺めながら車両の到着を待ち、そして備後庄原までの1区間、芸備線に乗車する。

歩きながら発見する新しい小道、車窓から見る町の表情、心地よい車両の揺れ。

長男がまだ小さかった頃からの「ちよい乗り散歩」。もう何年になるだろう。

移動手段とはちよつと違う、我が家のローカル線の楽しみ方です。

小川 修（西本町）

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文（100文字程度）乗車体験記（200文字程度）を郵送またはメールでお送りください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール
koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します！



遊 ぜん

所 西本町二丁目18番11号
☎ 0824-72-9202
営 17時～翌1時
休 なし（臨時休業あり）

取り扱う市内産食材 米、野菜



▶▶▶ 店主の杉谷純司さんに聞きました。

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？
当店のお客さまは、庄原に在住の人がほとんどで、地元の野菜やお米のおいしさをよく知っておられます。その野菜やお米を使うことにより、一層おいしい料理が提供できると考えております。しかし、なかなか知っていただく機会がなかったため、登録することで、今まで来ていただいていたお客さまや、新規のお客さまにも、おいしさを知っていただけたらと思ったからです。

お店の推進店としてのこだわりは？
おいしい地元の野菜やお米に一手間かけることで、さらにおいしい料理になるよう心掛けています。今後も地元の食材を使い、創

意工夫を凝らし、庄原の皆さんに提供していきたいと考えています。

皆さんへ一言
新鮮な地元の野菜やお米を使ったメニューを多数取りそろえております。四季に合わせた季節限定メニューもあり、いつ来られても満足いただけるお店づくりをしています。ソフトドリンクやカクテルも多数ありますので、男性はもちろん、女性や家族連れでもぜひ一度お越しください。



▲刺身の盛り合わせ

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係（☎0824-73-1255）まで。